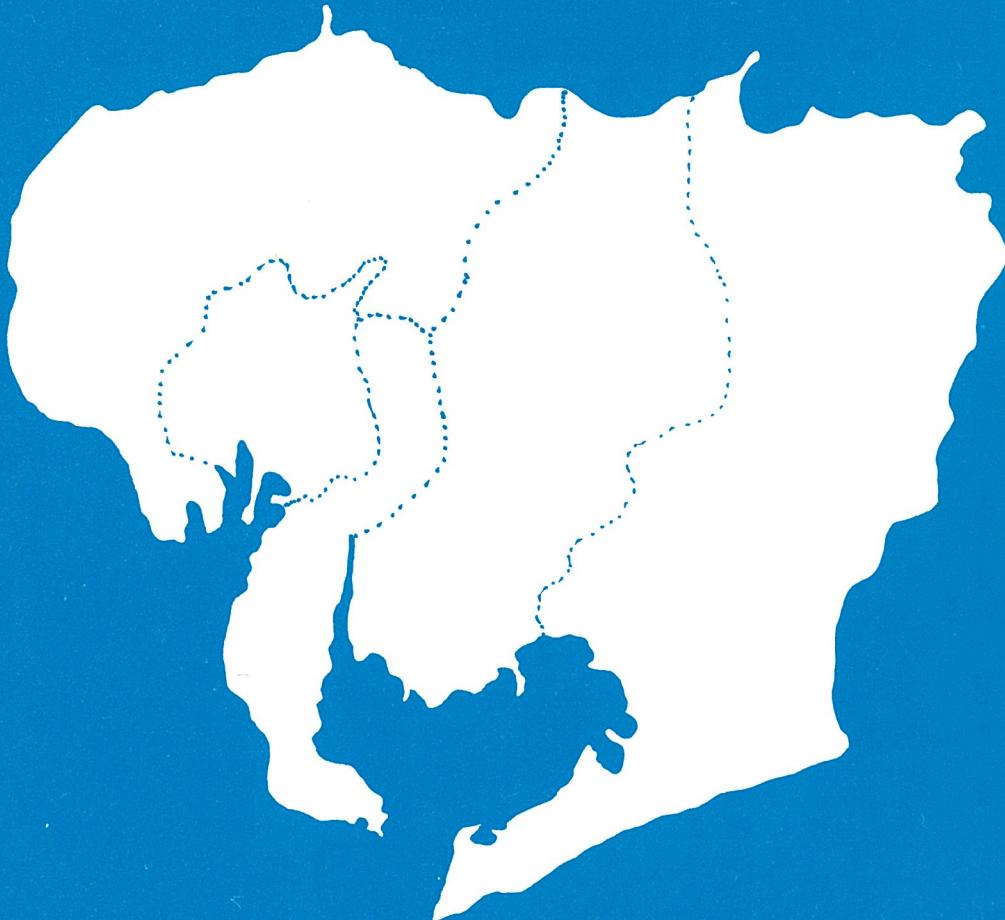


観の眼



—— 目 次 ——

巻頭言	1	会員の声 剣道病	10
愛知国体にむけて	2	会員の声 剣道に魅せられて	11
第45回国体剣道大会	3	事務局だより	12
第28回剣道中堅指導者講習会を受講して	5	審査年限の移行について	13
おめでとうございます 称号及び段位合格者	6	平成三年道剣道及び居合道学科試験問題	13
文献紹介	7	手数料一覧	14
範士への歩み	7	平成三・四年度役員一覧	15
叙勲受章の思い出	8	平成三年度事業計画	16
会員の声 60の手（剣）習い	9	各連盟所在地一覧、計報、編集後記	19

第15号



財団
法人

愛知県剣道連盟

(財)愛知県剣道連盟は、戦後剣道を愛好し、剣道再興の熱意により、当時の諸先生方のご努力と、名古屋鉄道株式会社社長の土川元夫先生のご尽力により、昭和二十七年十二月に結成され、剣道愛好団体として発足されました。

以来約三十数年の年月を経過し、その間、竹田弘太郎先生、杉山孝雄先生を会長にいたり、役員、会員の御協力により発展し、輝かしい愛知剣道の歴史と伝統を形成してまいりました。

昭和六十年代になり当時の理事長、加藤文雄先生を中心にして、剣道の公益性及び社会的な評価の認識を基にして、剣道を法人とする願いが出てまいりまして、幾多の苦しい又困難な問題点を乗り越えて、昭和六十二年七月愛知県教育委員会から財團法人としての認可を受け再出発することになりました。

現在剣道が学校教育の教材として採用され、又剣道が武道として国民的な教養を目標とするようになつた現在、連盟も又法人としての価値評価はまことにやろこばしい事ではあると思つております。

私は中学校で剣道を中根親純先生から教えていただきました。先生は高等師範のご出身で、採用され、又剣道が武道として国民的な教養を目標とするようになつた現在、連

愛がない教育は教育ではない。従つて、剣道も愛がなくてはならない。剣道は相手を愛する気持ちが大切であり、人間愛を通して、修練するものであります。等々常に只今の剣道の理念である「剣道は理念を通しての人間形成である」という理を常に教わりました。

平成三年度の事業も決定され、新しい気持ちで各行事を遂行することになりました。ご承知のように平成六年には愛知国体が開催され、剣道は西尾市で挙行されます。又その前年度には、大会会場でリハーサル大会として、全国剣道連盟対抗剣道優勝大会が開催されます。又平成六年の夏季大会の折に、岩倉市総合体育館で県下の少年大会が開催されることになつております。

私は常に「和」という事をした剣道を教えていただきました。私が今日あるのは中根先生よりの正しい剣道を教えていただいた結果であると思つております。

高等師範学校では佐藤卯吉先生より「愛の剣道」を教えられました。教育は愛である、



卷頭言

財団法人愛知県剣道連盟

理事長 谷 鎌吉郎

身で、正しい基礎技術を基盤にして、正しく基礎技術を基盤とした剣道を教えていただきました。私が今日あるのは中根先生よりの正しい剣道を教えていただいた結果であると思つております。

よく、というように連盟が運営される事を願つております。会員の皆様のより一層のご協力と、ご支援をお願いして卷頭言とします。

あいち国体に向けて

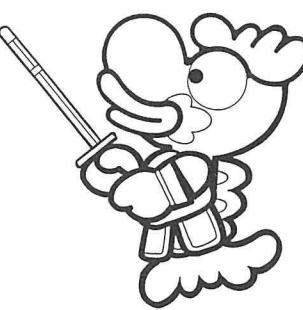
福田俊雄

第一回国体は、戦後間もない昭和二十一年に、戦災を免れた京都を中心開催され、愛知県は、昭和二十五年に第五回大会を行いました。その後、各県持ち回りで、昭和六十二年沖縄国体で一巡し、平成六年愛知国体は第四十九回大会となります。

県内二十六市十一町二村で三十八競技が競われ、矢作川の豊かな水の流れと、自然環境に恵まれて、着実に発展してきた西三河南部の中核都市・西尾市で、剣道競技が行われます。以下、これまでの経過・必要な諸準備の推進・および今後の予定等について記して見たいと思います。

一、これまでの経過と必要な諸準備の推進

- 昭和五十八年五月 県体育協会理事会で第四十九回国体の愛知県招致決定
- 昭和五十九年七月 日本体育協会理事会で第四十九回国体開催申請順序が愛知県に決定
- 昭和六十一年四月 県教育委員会内に国体準備室を設置



この朗報に接し、関係者はその喜びをつぎのとおり語っている。

- (1) 本多 前西尾市町・前市体協会長 県から正式決定の朗報を頂き、西尾市に早々とクリスマス・プレゼントが届いたような気
- (2) 平成二年三月 第四十九回国体代表者
- (3) 高原 元西尾市議会議長(財県剣道・高原評議員の実兄)市議会側も大賛成、全面的に応接していくことになった。市当局と共に受皿づくりに万全の準備をしたい。
- (4) 山田 西尾市剣連会長(西三河剣連会長・財県剣連副会長)地元の剣連として、こんなにうれしいことはない。県剣連が受け入れの中心となるが、地元としては縁の下の力持ちとなるよう全面的に協力をしたい。
- (5) 同年六月 県選手強化対策本部から強化指定校を次のとおり発表
- (6) 同年十月 国体のテーマ「わかしゃち国体」
- (7) 同年十一月 県選手強化対策本部から強化指定校を次のとおり発表
- (8) 同年十二月 「わかしゃち国体」のシンボルマークおよびマスコットが決まる。
- (9) 同年三月 第四十九回国体の現地視察

分がする。この上は、堂々たる総合体育館をつくり、成功させたい。

三年前から尽力をして来て、本決まりと聞き非常に喜んでいる。あとは、市と県のかけ橋となつて、すばらしい総合体育館を完成できるように尽力したい。

を受け全体会議を開催
(財全日本剣道連盟・財愛知県剣道連盟・愛知県国体準備室・西尾市の四国体代表者 計十九名参加)

同年三月 西尾市議会で第五回国体(剣道)開催を決議

平成二年三月 第四十九回国体のテーマ「わかしゃち国体」

スローガン「いい汗キャッチ!生き生き愛知」決まる。

同年六月 西尾高校・中京高校・桜ヶ丘高校・星城高校女子 西尾高校・星城高校・国府高校・東海商高校・国府高校・中京高校

(財)県剣連・西三河剣連・西尾市剣連・西尾市の四団体代表者)

男子 西尾高校・中京高校

女子 西尾高校・星城高校

同月 福岡国体視察

同年十月 福岡国体視察

同年十一月 福岡国体事後視察(右 四団体代表者)

同年十二月 「わかしゃち国体」のシンボルマークおよびマスコットが決まる。

平成三年三月 第四十九回国体の現地視察

国体競技役員編成および競技用具整備計画について合意競技(財県剣連・西尾市の代表者)

同年同月 国体リハーサル大会および本大会の業務に係る剣道連盟と西尾市との業務分担について協議(前期四団体代表者)

二、今後の予定

- 平成三年 西尾市総合体育館の建設着手 市実行委員会の発足および石川国体の視察現状です。三年後に迫った愛知国体に向けて、県剣連会員すべての総力を結集して、努力を累積しようではありませんか。

一はじめに
平成二年十月二十一日から二十六日までの六日間にわたって、第四十五回国民体育大会(「とびうお国体」)が、福岡県で開催された。全国各地から参集した精鋭の選手たちが、大

第四十五回国体剣道大会

中村 薫

- 会の「ときめき 出合い みなぎる力」をスローガンに、県内各地で三十八の競技に、熱戦を展開した。剣道競技は、県東部に位置し、古来より美也古(みやこ)と呼ばれて来た行橋市において実施された。約

この二回で その後実際に三十年近く優勝の栄冠を手にしていない。県剣連は今までの国体強化訓練に力を注がれます。選手候補の積極的な強化訓練への参加をお願いいたします。

省・検討を加え選手の育成に一段と力を發揮して、國体にふさわしい剣道絵巻をくりひろげた。

愛知県選手団の構成は、成年一部と、東海地区予選を経て、参加資格を得た成年二部、少年男子、少年女子の四種目十八名で、私は、総監督の命を受けて参加した。

二、試合結果

- (1) 成年一部 一回戦は群馬と大戦。緒戦は、各県とも堅さがほぐれず、本来の動きが見られない傾向があるが、本県選手も、よく緊張感を克服して、ジックリ時間をかけた試合運びで、四対一で勝つ。二回戦和歌山は、先鋒島、延長三回の熱戦の末、よく一本勝ちに抑え、先制優位に立つたと思えたが、次鋒山崎、小手をとられ対となり、中堅畠山、二本負けして逆転される。副将松本、健闘し、面、小手を連取して大将戦へ。大将水谷は、和歌山大倉の小手を、見事にすりあげ面にきめて辛勝した。

三回戦は、少年男女、成年二部の優勝に意気上の福岡とぶつかる。地方優勝の熱気の中、先鋒島、次鋒澤奮起して、得意の胸をきめ対となる。大将戦で梅山粘りを見せ、十分間の試合となつたが、遂に独特な持味の面にて一本勝ちをおさめ、二対一で勝つ。

準決勝対京都。一、二回戦を共に大将戦で勝ち抜き、決勝戦進出をかけての一戦。中村は、面をとられた直後、大胆に間合に入り、大きく振りかぶって面を切り、終了近く出頭面でまず一勝。寺沢聰を先取したが、立てつづけに、かつぎ小手一本をと

五百七十名の参加選手が、栄えある郷土の代表として、日ごろ鍛磨した力と技を發揮して、國体にふさわしい剣道絵巻をくりひろげた。

愛知県選手団の構成は、成年一部と、東海地区予選を経て、参加資格を得た成年二部、少年男子、少年女子の四種目十八名で、私は、総監督の命を受けて参加した。

二、試合結果

- (1) 成年一部 一回戦は群馬と大戦。緒戦は、各

県とも堅さがほぐれず、本来の動きが見られない傾向があるが、本県選手も、よく緊張感を克服して、ジックリ時間をかけた試合運びで、四対一で勝つ。二回戦対岡山。先鋒八分の熱戦で

上げ面に決め、一点を返す。勝負の岐れ目に立つた副将松本は、息づまる攻防を重ねたが、相手の積極果敢などび込み小手に、一本負けを喫し、大将戦につなぐことができなかつた。結果は、四対一の負けとなり、惜しくも準々決勝進出を逃がした。

二、試合結果

- (2) 成年二部 一回戦強豪東京都當る。三人制なので、特に一人の得失は重い。先鋒中村、少々不調の波に襲われていたので、不安であったが、予想を覆し、見事な活躍で、二本勝ち。中堅寺澤、一本負けしたが、大将梅山、余裕のある試合ぶりで、二本勝ちして二対一で降す。

二回戦対岡山。先鋒八分の熱戦であつたが、惜しくも一本負けし、寺澤奮起して、得意の胸をきめ対となる。大将戦で梅山粘りを見せ、十分間の試合となつたが、遂に独特な持味の面にて一本勝ちをおさめ、二対一で勝つ。

準決勝対京都。一、二回戦を共に大将戦で勝ち抜き、決勝戦進出をかけての一戦。中村は、面をとられた直後、大胆に間合に入り、大きく振

られ、一対一となる。またも大将戦となり、梅山表からの小手、面の連続技が見事にきまり、決勝戦へ進出する。

いよいよ満場注目の中、地元福岡との決勝戦となる。中村、好調の意気さかんであったが、小手抜き面を先取され、後、相手の上段からの攻撃で一本を守り切られ、寺澤にバトンタッチする。寺澤、開始早々、小手を先取したが、出小手をとられ、後、つばぜり合いからの引き面をとられ、勝負は決定した。大将梅山、やはり気落ちしたか、面の一本負けとなる。結果は、三対〇の負けとなつたが、両チーム決勝戦にふさわしい立派な試合であった。

▼準決勝戦

▼決勝戦

愛知2—1京都 愛知0—3福岡
先中村 —×廣田 先中村 —×金森
中寺澤ド —ココ古林 中寺澤コ —ココ山口
大梅山 —×河原 大梅山 —×石飛

(3) 少年男子

東海地区予選では、一段上の余裕のある優勝と見た。鈴木監督のもの本年選手は、なかなかの充実ぶりで相当の期待を持てるチームであった。

一回戦対秋田。先鋒平尾、小手を

とられ、時間切れで一本負けとなり、

「第二十八回剣道中堅指導者講習会」を受講して

向陽高校教諭 小山宗章

いわゆる「柳生の講習会」である。「彼とは柳生で同期だ」、「柳生でこう習った」などと耳にしていたのでどのようなものだろうかと興味をもつていた。

しかし、行かして下さいと名乗り出るものでもなさうだし、県で一名という制限や自分の年令を考え合われる」と受講のチャンスはなさそう

そこへ、「小山さん、今年柳生へ行かないか」と聞いていただけだから、「もーもなく「有難うございます」と答えてしまった。

幸い、現在の勤務校は二期制のため学期末考査の時期にあたらぬので、奉職して初めて数日の休暇をとつて出掛けることにした。

高校の体育教師としてはや二十年、「久々に剣道にどっぷりつかって、自分の剣道を振返つてみたいな」と意気込んだまではよかつたのだが、講習会が近づくにつれ期待は次第に不安に変わっていた。

因みに、不安の第一原因是講師陣

次鋒上山、面の一本勝ちで対とする。中堅加藤、危な気なく、ストレートの面二本勝ちで副将戦へ。畠山、小手と面の一本々々となり、タイムアップ寸前に見事小手をきめて勝ちを決す。大将戦鈴木引分けで三対一の勝ち。まずまずの出足で、二回戦以後の対戦が期待される。

二回戦宮崎は、昨年大将戦で惜敗した強豪チーム。選手達には、大いに闘志を燃やすべき相手である。先鋒平尾、面、小手二本をとられたが、次鋒上山、反対に小手、胴をとり、ガッブリ四つの形となる。中堅加藤、また胴、面二本を失い、やや先行さるが、副将畠山、奮起して小手の一本勝ちで、大将戦へつなぐ。大将鈴木、相手吉井と鎧を削る戦いとなり、手に汗を握る七分十四秒、遂に鮮かな面をきめ、三対一の勝ちで昨年の借りを返した。

強豪宮崎と大将戦の末、辛勝した鈴木、相手吉井と鎧を削る戦いとなり、手に汗を握る七分十四秒、遂に鮮かな面をきめ、三対一の勝ちで昨年の借りを返した。

平尾、上山と何となく一本負けして、二点先取される。中堅加藤に逆転の期待を持ったが、またも小手の一本負けで勝負が決する。副将畠山も同じく面の一本負け、大将引分けの四

対0と思いがけない結果に終る。みな五分の戦いと見たが、全般に問合せても緊張感がたかまる。やがて受講生が集まつてくる。鹿児島の末野、埼玉の山中、北海道の古川、等々各種大会に活躍する猛者たちの顔がある。

彼らに混じって、大学の同級生・先輩・後輩、全国高体連の顔馴染みの顔を見付けたときにはほつと胸を撫で下ろす思いだった。

さて、講習の日課は6時起床、30分間の座禅に始まり朝稽古一時間、正木坂を下りて久保田亭で朝食をすませると、休む間もなく二時間半の講習、最後に一時間の稽古で仕上げられる。

夕食後は宿舎も兼る道場に戻り、

でリードされ、試合運びでかきまわされた感じで、するすると一本負けを重ねた。上り調子で、準決勝戦進出へ期待を寄せたが、残念であった。

東海地区予選では、二位となり、国体出場資格を得た。小山監督の指導のもと、チームワークを図り、強化練習を重ねて本大会に臨んだ。

一回戦に、優勝候補の呼び声の高い大阪との対戦となる。先鋒香村、善戦敢闘したが、九分半の熱戦の末、面の一本負け。次鋒六郷、またよく戦つたが、小手と面の一本々々の後、惜しくも面を失い、二点を先取される。中堅長屋、小手の一本勝ちで、逆転の期待を残したが、副将高橋、高田と五分にわたり合い、一本々々の引分けとなる。この対戦では、あわやと思われる場面もうかがわれ、チーム全員健闘した試合内容は、今後の成長への大きな足がかりとなると思う。

三 むすび

以上試合結果を書き記したが、全般的に、本年の国体においては、本



県選手の活躍ぶりが目立つた。特に成年二部において準優勝に輝いたことは、賞讃に値する。この結果、剣道競技総合成績は、第三位の成績であった。この上昇気運を次回以後の団体につなぎ、来るべき平成六年の愛知国体には、是非大輪の花を咲かせたいと思う。

東海地区予選では、二位となり、国体出場資格を得た。小山監督の指導のもと、チームワークを図り、強化練習を重ねて本大会に臨んだ。

市においては、民泊を主とし、六百八十五人の民泊を引受けられ、本県選手もいろいろな面でお世話になりました。大将西尾は、スケールの大きい大阪との対戦となる。先鋒香村、善戦敢闘したが、九分半の熱戦の末、面の一本負け。次鋒六郷、またよく戦つたが、小手と面の一本々々の後、惜しくも面を失い、二点を先取され、逆転の期待を残したが、副将高橋、高田と五分にわたり合い、一本々々の引分けとなる。この対戦では、あわやと思われる場面もうかがわれ、チーム全員健闘した試合内容は、今後の成長への大きな足がかりとなると思う。

謝をしている次第である。

東海地区予選では、二位となり、国体出場資格を得た。小山監督の指導のもと、チームワークを図り、強化練習を重ねて本大会に臨んだ。

市においては、民泊を主とし、六百八十五人の民泊を引受けられ、本県選手もいろいろな面でお世話になりました。大将西尾は、スケールの大きい大阪との対戦となる。先鋒香村、善戦敢闘したが、九分半の熱戦の末、面の一本負け。次鋒六郷、またよく戦つたが、小手と面の一本々々の後、惜しくも面を失い、二点を先取され、逆転の期待を残したが、副将高橋、高田と五分にわたり合い、一本々々の引分けとなる。この対戦では、あわやと思われる場面もうかがわれ、チーム全員健闘した試合内容は、今後の成長への大きな足がかりとなると思う。

三 むすび

以上試合結果を書き記したが、全般的に、本年の国体においては、本

地域によって分けられた班毎に講習記録をまとめる。

あとは、各自が適量をたしなみながら和気藹々、情報交換や剣道談義に花を咲かせる。しかし、それもいつしかいびきや寝言の花と化す。

寝たまま空拳で素振りを繰り返す人もある。こうして、五十人が道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

崎・・・といったフルネームを必要としないおそろしい先生方なのだ。いよいよ当日、柳生の正木坂道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

鹿児島の末野、埼玉の山中、北海道の古川、等々各種大会に活躍する猛者たちの顔がある。

彼らに混じって、大学の同級生・先輩・後輩、全国高体連の顔馴染みの顔を見付けたときにはほつと胸を撫で下ろす思いだった。

さて、講習の日課は6時起床、30分間の座禅に始まり朝稽古一時間、正木坂を下りて久保田亭で朝食をすませると、休む間もなく二時間半の講習、最後に一時間の稽古で仕上げられる。

夕食後は宿舎も兼る道場に戻り、

でリードされ、試合運びでかきまわされた感じで、するすると一本負けを重ねた。上り調子で、準決勝戦進出へ期待を寄せたが、残念であった。

東海地区予選では、二位となり、国体出場資格を得た。小山監督の指導のもと、チームワークを図り、強化練習を重ねて本大会に臨んだ。

市においては、民泊を主とし、六百八十五人の民泊を引受けられ、本県選手もいろいろな面でお世話になりました。大将西尾は、スケールの大きい大阪との対戦となる。先鋒香村、善戦敢闘したが、九分半の熱戦の末、面の一本負け。次鋒六郷、またよく戦つたが、小手と面の一本々々の後、惜しくも面を失い、二点を先取され、逆転の期待を残したが、副将高橋、高田と五分にわたり合い、一本々々の引分けとなる。この対戦では、あわやと思われる場面もうかがわれ、チーム全員健闘した試合内容は、今後の成長への大きな足がかりとなると思う。

三 むすび

以上試合結果を書き記したが、全般的に、本年の国体においては、本

地域によって分けられた班毎に講習記録をまとめる。

あとは、各自が適量をたしなみながら和気藹々、情報交換や剣道談義に花を咲かせる。しかし、それもいつしかいびきや寝言の花と化す。

寝たまま空拳で素振りを繰り返す人もある。こうして、五十人が道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

崎・・・といったフルネームを必

要としないおそろしい先生方なのだ。いよいよ当日、柳生の正木坂道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

鹿児島の末野、埼玉の山中、北海道の古川、等々各種大会に活躍する猛者たちの顔がある。

彼らに混じって、大学の同級生・先輩・後輩、全国高体連の顔馴染みの顔を見付けたときにはほつと胸を撫で下ろす思いだった。

さて、講習の日課は6時起床、30分間の座禅に始まり朝稽古一時間、正木坂を下りて久保田亭で朝食をすませると、休む間もなく二時間半の講習、最後に一時間の稽古で仕上げられる。

夕食後は宿舎も兼る道場に戻り、

でリードされ、試合運びでかきまわされた感じで、するすると一本負けを重ねた。上り調子で、準決勝戦進出へ期待を寄せたが、残念であった。

東海地区予選では、二位となり、国体出場資格を得た。小山監督の指導のもと、チームワークを図り、強化練習を重ねて本大会に臨んだ。

市においては、民泊を主とし、六百八十五人の民泊を引受けられ、本県選手もいろいろな面でお世話になりました。大将西尾は、スケールの大きい大阪との対戦となる。先鋒香村、善戦敢闘したが、九分半の熱戦の末、面の一本負け。次鋒六郷、またよく戦つたが、小手と面の一本々々の後、惜しくも面を失い、二点を先取され、逆転の期待を残したが、副将高橋、高田と五分にわたり合い、一本々々の引分けとなる。この対戦では、あわやと思われる場面もうかがわれ、チーム全員健闘した試合内容は、今後の成長への大きな足がかりとなると思う。

三 むすび

以上試合結果を書き記したが、全般的に、本年の国体においては、本

地域によって分けられた班毎に講習記録をまとめる。

あとは、各自が適量をたしなみながら和気藹々、情報交換や剣道談義に花を咲かせる。しかし、それもいつしかいびきや寝言の花と化す。

寝たまま空拳で素振りを繰り返す人もある。こうして、五十人が道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

崎・・・といったフルネームを必

要としないおそろしい先生方なのだ。いよいよ当日、柳生の正木坂道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

鹿児島の末野、埼玉の山中、北海道の古川、等々各種大会に活躍する猛者たちの顔がある。

彼らに混じって、大学の同級生・先輩・後輩、全国高体連の顔馴染みの顔を見付けたときにはほつと胸を撫で下ろす思いだった。

さて、講習の日課は6時起床、30分間の座禅に始まり朝稽古一時間、正木坂を下りて久保田亭で朝食をすませると、休む間もなく二時間半の講習、最後に一時間の稽古で仕上げられる。

夕食後は宿舎も兼る道場に戻り、

でリードされ、試合運びでかきまわされた感じで、するすると一本負けを重ねた。上り調子で、準決勝戦進出へ期待を寄せたが、残念であった。

東海地区予選では、二位となり、国体出場資格を得た。小山監督の指導のもと、チームワークを図り、強化練習を重ねて本大会に臨んだ。

市においては、民泊を主とし、六百八十五人の民泊を引受けられ、本県選手もいろいろな面でお世話になりました。大将西尾は、スケールの大きい大阪との対戦となる。先鋒香村、善戦敢闘したが、九分半の熱戦の末、面の一本負け。次鋒六郷、またよく戦つたが、小手と面の一本々々の後、惜しくも面を失い、二点を先取され、逆転の期待を残したが、副将高橋、高田と五分にわたり合い、一本々々の引分けとなる。この対戦では、あわやと思われる場面もうかがわれ、チーム全員健闘した試合内容は、今後の成長への大きな足がかりとなると思う。

三 むすび

以上試合結果を書き記したが、全般的に、本年の国体においては、本

地域によって分けられた班毎に講習記録をまとめる。

あとは、各自が適量をたしなみながら和気藹々、情報交換や剣道談義に花を咲かせる。しかし、それもいつしかいびきや寝言の花と化す。

寝たまま空拳で素振りを繰り返す人もある。こうして、五十人が道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

崎・・・といったフルネームを必

要としないおそろしい先生方なのだ。いよいよ当日、柳生の正木坂道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

鹿児島の末野、埼玉の山中、北海道の古川、等々各種大会に活躍する猛者たちの顔がある。

彼らに混じって、大学の同級生・先輩・後輩、全国高体連の顔馴染みの顔を見付けたときにはほつと胸を撫で下ろす思いだった。

さて、講習の日課は6時起床、30分間の座禅に始まり朝稽古一時間、正木坂を下りて久保田亭で朝食をすませると、休む間もなく二時間半の講習、最後に一時間の稽古で仕上げられる。

夕食後は宿舎も兼る道場に戻り、

でリードされ、試合運びでかきまわされた感じで、するすると一本負けを重ねた。上り調子で、準決勝戦進出へ期待を寄せたが、残念であった。

東海地区予選では、二位となり、国体出場資格を得た。小山監督の指導のもと、チームワークを図り、強化練習を重ねて本大会に臨んだ。

市においては、民泊を主とし、六百八十五人の民泊を引受けられ、本県選手もいろいろな面でお世話になりました。大将西尾は、スケールの大きい大阪との対戦となる。先鋒香村、善戦敢闘したが、九分半の熱戦の末、面の一本負け。次鋒六郷、またよく戦つたが、小手と面の一本々々の後、惜しくも面を失い、二点を先取され、逆転の期待を残したが、副将高橋、高田と五分にわたり合い、一本々々の引分けとなる。この対戦では、あわやと思われる場面もうかがわれ、チーム全員健闘した試合内容は、今後の成長への大きな足がかりとなると思う。

三 むすび

以上試合結果を書き記したが、全般的に、本年の国体においては、本

地域によって分けられた班毎に講習記録をまとめる。

あとは、各自が適量をたしなみながら和気藹々、情報交換や剣道談義に花を咲かせる。しかし、それもいつしかいびきや寝言の花と化す。

寝たまま空拳で素振りを繰り返す人もある。こうして、五十人が道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

崎・・・といったフルネームを必

要としないおそろしい先生方なのだ。いよいよ当日、柳生の正木坂道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

鹿児島の末野、埼玉の山中、北海道の古川、等々各種大会に活躍する猛者たちの顔がある。

彼らに混じって、大学の同級生・先輩・後輩、全国高体連の顔馴染みの顔を見付けたときにはほつと胸を撫で下ろす思いだった。

さて、講習の日課は6時起床、30分間の座禅に始まり朝稽古一時間、正木坂を下りて久保田亭で朝食をすませると、休む間もなく二時間半の講習、最後に一時間の稽古で仕上げられる。

夕食後は宿舎も兼る道場に戻り、

でリードされ、試合運びでかきまわされた感じで、するすると一本負けを重ねた。上り調子で、準決勝戦進出へ期待を寄せたが、残念であった。

東海地区予選では、二位となり、国体出場資格を得た。小山監督の指導のもと、チームワークを図り、強化練習を重ねて本大会に臨んだ。

市においては、民泊を主とし、六百八十五人の民泊を引受けられ、本県選手もいろいろな面でお世話になりました。大将西尾は、スケールの大きい大阪との対戦となる。先鋒香村、善戦敢闘したが、九分半の熱戦の末、面の一本負け。次鋒六郷、またよく戦つたが、小手と面の一本々々の後、惜しくも面を失い、二点を先取され、逆転の期待を残したが、副将高橋、高田と五分にわたり合い、一本々々の引分けとなる。この対戦では、あわやと思われる場面もうかがわれ、チーム全員健闘した試合内容は、今後の成長への大きな足がかりとなると思う。

三 むすび

以上試合結果を書き記したが、全般的に、本年の国体においては、本

地域によって分けられた班毎に講習記録をまとめる。

あとは、各自が適量をたしなみながら和気藹々、情報交換や剣道談義に花を咲かせる。しかし、それもいつしかいびきや寝言の花と化す。

寝たまま空拳で素振りを繰り返す人もある。こうして、五十人が道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

崎・・・といったフルネームを必

要としないおそろしい先生方なのだ。いよいよ当日、柳生の正木坂道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

鹿児島の末野、埼玉の山中、北海道の古川、等々各種大会に活躍する猛者たちの顔がある。

彼らに混じって、大学の同級生・先輩・後輩、全国高体連の顔馴染みの顔を見付けたときにはほつと胸を撫で下ろす思いだった。

さて、講習の日課は6時起床、30分間の座禅に始まり朝稽古一時間、正木坂を下りて久保田亭で朝食をすませると、休む間もなく二時間半の講習、最後に一時間の稽古で仕上げられる。

夕食後は宿舎も兼る道場に戻り、

でリードされ、試合運びでかきまわされた感じで、するすると一本負けを重ねた。上り調子で、準決勝戦進出へ期待を寄せたが、残念であった。

東海地区予選では、二位となり、国体出場資格を得た。小山監督の指導のもと、チームワークを図り、強化練習を重ねて本大会に臨んだ。

市においては、民泊を主とし、六百八十五人の民泊を引受けられ、本県選手もいろいろな面でお世話になりました。大将西尾は、スケールの大きい大阪との対戦となる。先鋒香村、善戦敢闘したが、九分半の熱戦の末、面の一本負け。次鋒六郷、またよく戦つたが、小手と面の一本々々の後、惜しくも面を失い、二点を先取され、逆転の期待を残したが、副将高橋、高田と五分にわたり合い、一本々々の引分けとなる。この対戦では、あわやと思われる場面もうかがわれ、チーム全員健闘した試合内容は、今後の成長への大きな足がかりとなると思う。

三 むすび

以上試合結果を書き記したが、全般的に、本年の国体においては、本

地域によって分けられた班毎に講習記録をまとめる。

あとは、各自が適量をたしなみながら和気藹々、情報交換や剣道談義に花を咲かせる。しかし、それもいつしかいびきや寝言の花と化す。

寝たまま空拳で素振りを繰り返す人もある。こうして、五十人が道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

崎・・・といったフルネームを必

要としないおそろしい先生方なのだ。いよいよ当日、柳生の正木坂道場に着いてみると、いかにも由緒ある道場らしいたずまいで、いやが上にも緊張感がたかまる。

やがて受講生が集まつてくる。

鹿児島の末野、埼玉の山中、北海道の古川、等々各種大会に活躍する猛者たちの顔がある。

彼らに混じって、大学の同級生・先輩・後輩、全国高体連の顔馴染みの顔を見付けたときにはほつと胸を撫で下ろす思いだった。

さて、講習の日課は6時起床、30分間の座禅に始まり朝稽古一時間、正木坂を下りて久保田亭で朝食をすませると、休む間もなく二時間半の講習、最後に一時間の稽古で仕上げられる。

夕食後は宿舎も兼る道場に戻り、

でリードされ、試合運びでかきまわされた感じで、するすると一本負けを重ねた。上り調子で、準決勝戦進出へ期待を寄せたが、残念であった。

東海地区予選では、二位となり、国体出場資格を得た。小山監督の指導のもと、チームワークを図り、強化練習を重ねて本大会に臨んだ。

市においては、民泊を主とし、六百八十五人の民泊を引受けられ、本県選手もいろいろな面でお世話になりました。大将西尾は、スケールの大きい大阪との対戦となる。先鋒香村、善戦敢闘したが、九分半の熱戦の末、面の一本負け。次鋒六郷、またよく戦つたが、小手と面の一本々々の後、惜しくも面を失い、二点を先取され、逆転の期待を残したが、副将高橋、高田と五分にわたり合い、一本々々の引分けとなる。この対戦では、あわやと思われる場面もうかがわれ、チーム全員健闘した試合内容は、今後の成長への大きな足がかりとなると思う。

三 むすび

以上試合結果を書き記したが、全般的に、本年の国体においては、本

地域によって分けられた班毎に講習記録

で弟子達より多くけい古に励んだ。

その頃武講同窓会の講習会に年二回山口県へ出掛け、諸先生の指導を受けた。五十八年五月八段に昇段す

ることができた。

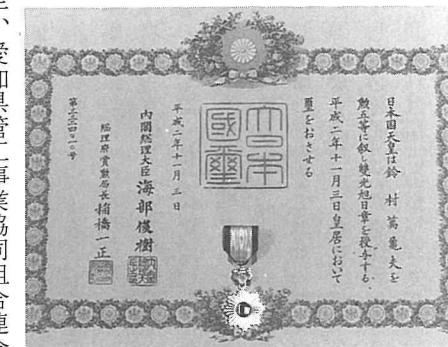
此の間に全日本居合道大会に故鹿島清孝先生と第二回から連続十一回出場。福島大会ではベスト八に入る。五十五年八月静岡八重垣会の大会で七段の部で最優秀賞、五十六年十二月大阪居合道大会で七段の部で最優秀賞などを受けた。

中日居合道大会の開催

五十四年第一回をナオリ会館で開催してから今年で十二回となりました。此の大会は全国各地から諸先生を始め、七才から八十才に至る剣士の皆様方の参加で、老若男女和気相合の大会となり年々参加者も増加。本年は八百五十名に達しました。これも諸先生方の御指導ご協力の賜と感謝申し上げます。

昭和六十一年から中京大学体育学部武道学科の授業を受け持つようになり、年々巣立ち行く生徒を見送りながら、十年後に頭角を現す事を夢見ながら指導に励んでおります。

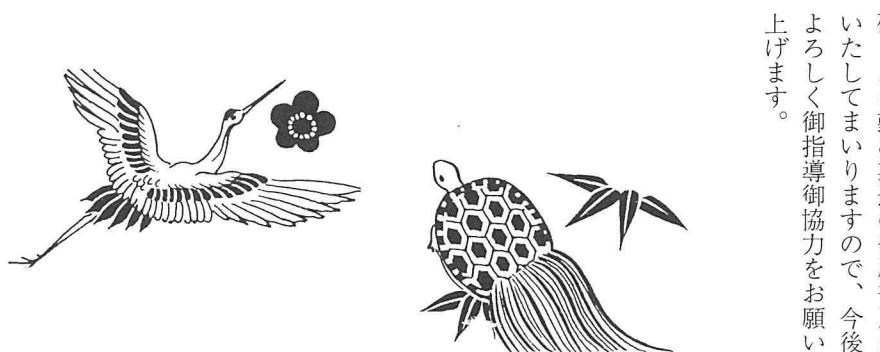
一方全日本居合道大会の審判員五回、六・七段の審査員を七回勤めながら、出来るだけ多くの人々が合格



年、愛知県管工事業協同組合連合会副会長を八年、それぞれ長い間、業界の発展、指導に尽力、また、名古屋市中区区政協力委員を二十二年、そして体育委員を二十年、区政のお手伝いもさせていただき、はからずこの度の叙勲となりました。建設省から皇居に参上するのは、これで二度目になります。五年前に黄綬褒章を頂き、そして、この度の叙勲です。前回は昭和五十九年四月二十九日春の褒章の時は豊明殿にて、昭和天皇陛下より頂き、この度は春秋の間にて平成天皇陛下より頂き、私くし程の果報者は他におみえにならないのではないでしようか。自分の身近（約一メートル）で天皇陛下に拝謁した時は感激の涙をこらえるのが

し、立派な指導者になって頂く事を願つて審査に当つてきました。研さんに勤め斯道の発展普及に努力いたしてまいりますので、今後ともよろしく御指導御協力をお願ひ申し上げます。

残る余生は僅かではありますが、生とのめぐり合いが出来、身に余る光栄と思っております。

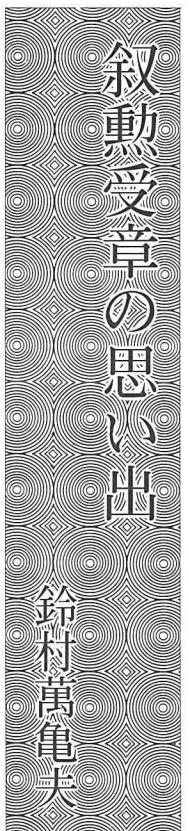


必至だったのを覚えています。この涙は何であつたろうか、顧みると、戦時中「天皇陛下の為、国家の為」と戦い、生き抜いて来た者でなければ、この涙は分からぬだろうと思ひます。

私共にとつては、生涯忘れ得られない最高の一日でした。

その夜、ホテル・ニューオークラにて建設業界主催の祝賀パーティーが開催され、建設大臣をはじめ建設業界の諸先輩が出席されて祝辞を頂き、それぞれの人から色々と体験談や世間話、仕事の話など大変良いお話を聞くことが出来ました。人と人の出会い、や交わりなどを通して、人としての大切な人間形成たるものを見らされた思いが致しました。人生には國家、社会、仕事、また、剣道にも基本となる人生論がある様に思われます。私は九才より剣の道に携わつてまいりましたが、今は故人となられた、堀正平先生に大日本帝国海軍へ入隊して以来教えを受け、いつも先生が口癖の様に言っておられた言葉を、この時程思い出した事はありません。一、神妙剣見る事三段の分別、一、心似_{水中月}、形如_{鏡上影}、一、意速如_{水月鏡像}、本当に良き師に出会つたと心中より

し、立派な指導者になつて頂く事を願つて審査に当つてきました。研さんに勤め斯道の発展普及に努力いたしてまいりますので、今後ともよろしく御指導御協力をお願ひ申し上げます。



平成二年十一月三日「文化の日」に発表がありました。日本国天皇陛下より、勳五等双光旭日章の受章にあたり感想を述べよと、わざわざ広報委員長の木本先生より私に原稿依頼の声がかかりましたので御趣旨に従つて筆をとらせていただきます。

建設省の大講堂へ集合しました。叙勳の受章者百二十七名の内、私達管工事業に携わっている者は三名で、他の二名は鳥取県、茨木県の方でした。

叙勳受章の日に備えて前日から家内と共に上京しました。さて、当日は師走にもかかわらず秋晴れの好天に恵まれ、清らかな気

内と共に上京しました。

さて、当日は師走にもかかわらず秋晴れの好天に恵まれ、清らかな気

が、長い間ご苦労様でした、今後共国に尽くして下さい。」のお言葉を賜り、全員感激いたしました。

午後から室内同伴にて皇居の春秋の間に参内して、天皇陛下より直接お祈り致しますと共に、今後共國に貢献するには勿論のこと、剣道界の発展と諸先生方の御多幸を心からお祈り致しますと共に、今後とも尚一層の御指導御鞭撻の程くれぐれもお願い申し上げまして筆を止めさせていただきます。

私が叙勳の榮に浴くことが出来ましたのは、名古屋市指定水道工事店協同組合の理事、理事長を二十五年。右肺結核、名大病院に毎週気胸（肺と肋骨の間に空気を入れて、肺の活動を停止せしめる治療方法）を行「おこな」つてもらひ呼吸も苦しく、早く歩くことも出来ない状態であった。

この外に、胃潰瘍も、内科的治療を長年続けても、遂に、胃切除の手術をしなければ、駄目ということになりました。三十一年に第一回手術、四十一年に再度手術を受け、胃の残りは少しあつた。執拗な病魔も、私の徹底した養生と治療に、遂に、私を見捨ててくれた。第二回の手術から十年後、体調も順調になつて來たし、医師からも、少し位ならぬ、ゴーサインが出たので、早速防具の購入に行つたが、こんな中年から始める人は、絶対にすぐ投げ出すだろうと、親心で、安いのを売つたと、相当ありのまま、思つてそのままを書き



会員の声

60の手（剣）習い

剣道六段鍊士

深尾重久

權威ある「観の眼」に、私の如き未熟者の剣歴の披露などは、叱責を受けるかと存じますが、役員の方から依頼を受けましたので、装飾することもなく、誇張することもなく、親心で、安いのを売つたと、相当ありのまま、思つてそのままを書き

持の朝でした。早朝より美容院で礼装した私と家内は、やや緊張した面持ちでタクシーにて建設省に向かいました。「少々早いかな……」と思いながら到着したら半数以上の方々がもう席に着いておられました。私達の業界本部の関係者がそれぞれに来ておられて、何かと面倒を見て頂き、何ひとつ不自由や不便を感じる事なく、勳記、勳章を自らの手にして一同感激にふけた次第です。

午後から室内同伴にて皇居の春秋の間に参内して、天皇陛下より直接お祈り致しました。陛下がお出ましになるまで、宮内庁の総務課長が、建物の内外の説明をしてくれるのですが、ジューインなど靴がすっぽり埋まつてしましました。

私が叙勳の榮に浴くことが出来ましたのは、名古屋市指定水道工事店協同組合の理事、理事長を二十五年。右肺結核、名大病院に毎週気胸（肺と肋骨の間に空気を入れて、肺の活動を停止せしめる治療方法）を行「おこな」つてもらひ呼吸も苦しく、早く歩くことも出来ない状態であった。

この外に、胃潰瘍も、内科的治療を長年続けても、遂に、胃切除の手術をしなければ、駄目ということになりました。三十一年に第一回手術、四十一年に再度手術を受け、胃の残りは少しあつた。執拗な病魔も、私の徹底した養生と治療に、遂に、私を見捨ててくれた。第二回の手術から十年後、体調も順調になつて來たし、医師からも、少し位ならぬ、ゴーサインが出たので、早速防具の購入に行つたが、こんな中年から始める人は、絶対にすぐ投げ出すだろうと、親心で、安いのを売つたと、相当ありのまま、思つてそのままを書き

とから述懐された。

いよいよこれから私の稽古が始ま

安保先生の紹介で、精勇館に入門した。この道場は、由緒ある道場であり、中学時代の恩師鹿嶋清孝範士八段が戦前に創立された道場であるが、私が入門した時は、丁度先生の三回忌の時であった。

先ずここで、火木土八時から九時大人の稽古。少し早く着いた時は、子供ともすることが出来た。然し、私は考えた。三十年のブランクを如何に縮めるか？それには人と同時稽古量ではとても駄目。平均人が週二回なら、四回で倍、毎日なら三倍になるのではないか。その上、それに時間も関係あるし、稽古中に面をとつて休む様では、これも量に関係がある。

私の凝り性は、一気に爆発した。この理論で、私は精勇館だけでなく、スポーツ会館へも行こうと決意した。これで大体毎日稽古の日は出来た。然し仕事の都合や、浮世の義理で稽古の出来ない日が重なると、イララとして必死にこの穴を埋めようとしました。それは稽古のハシゴであり、今でも時々活用している。

なれた。

高校に合格した後は、入学式前から練習に参加していた。そのうち主将になり、顧問があまり来なかつたので、自分の好きなように練習をしていました。剣道するためには、高校へ通っていたようなものだつた。友人からは「森田健作みたいな奴」と言われ、また自分もなりきつていた。そんな毎日を送っているうちにインタハイ予選が終わり、悔しさと満足感が同居した。複雑だが爽快な気分で高校の剣道部を引退した。その時点で私はそれまでほとんど勉強していないかったことに気付く、浪人への道を歩み始めたことになつたが、私はさほど後悔しなかつた。

浪人中、机に向かっていても、しばしば体を動かしたり、その欲求のはけ口を自転車に求めたが、剣道をやりたくて素振りの真似ごとをやつたりもした。また後輩たちのことも気にかかり、連絡をとり合い、夏や春の休みには何回か練習にまぜてもらつた。しかし自分は浪人といふ立場だったので、たまに竹刀を握つても「こんなことをしていてもいいのか、鉛筆を握るべきなのに」という思いにかられて没頭することはできなかつた。

先日、現在高三の後輩からの手紙

が届いた。インタハイ予選で負けた

る。

あと一ヶ月もすれば夏休みになる。

最初の数日間はホッとするとだらうが、そのうちにまた剣道がしたくてたまらなくなるであろう。いつまでこのような症状が続くのだろうか。結局のところ、私は剣道が好きなのであろう。レギュラーにもなりたいし、長年剣道を続けてきたのだから一度は日本武道館に立つて試合をしてみたい。この思いが今の私を支えているのかもしれない。

あの頃の私は、まだ子供で、

親子で続けています。

「弥富町はとてもスポーツの盛んな所です。町剣道連盟は、村瀬守男

会長を中心にして、毎年剣道教室

を開いています。

「教育委員会主催の少年剣道教室

に、娘が入った半年後に私も始めました。全く未知の世界、とても重い

道病」の患者が増えたようである。

しかし練習が毎日続くと疲れてく

る。最近は日曜のたびに試合があり、二部練もあつたりして休みがない。

練習はつらい。四限目が終わると憂鬱な気分になるが、剣道場へ行かざるを得ない。ところが四時四十五分になり「集合！」の掛け声を聞くと、「よーし、今日もやるぞ」と意気込んでしまう。何とも複雑な気分である。

あと一ヶ月もすれば夏休みになる。

最初の数日間はホッとするとだらうが、

そのうちにまた剣道がしたくてたま

らなくなるであろう。いつまでこの

ような症状が続くのだろうか。結局

のところ、私は剣道が好きなのであ

ろう。レギュラーにもなりたいし、

長年剣道を続けてきたのだから一度

は日本武道館に立つて試合をしてみ

たい。この思いが今の私を支えてい

るのかもしれない。

先日、現在高三の後輩からの手紙

が届いた。インタハイ予選で負けた

が、やるだけのことはやつた、とて

きどきする子供達の試合、勝敗を通

じて、喜びや悔しさを味わい、そし

て相手の痛みも分かり合える思いや

りの心、友達の輪も広がりました。

親子で剣を交え汗を流す。いい汗も

沢山かきました。

自分の意志を娘達に押しつけて剣

道をさせたのではなく、悩んだ時もあ

りました。しかし上の娘が中学三年

になった時、「お母さん私剣道を続

けていて良かった！」と云つた一言、

私自身ふっされて益々剣道の魅力に

ひかれています。剣道を続けていれ

ばそれだけ奥深さを感じ、悩みとま

どいます。その様な時には、何十年

とこの道を歩んでこられた先生方の

教えで、自分自身に納得いくまで語

りました。その後も、とても有難く感謝致

しております。

「剣道を始めた動機は？よく聞かれることですが、子と供にの言葉通り親子で続けています。

「弥富町はとてもスポーツの盛んな所です。町剣道連盟は、村瀬守男

会長を中心にして、毎年剣道教室

を開いています。

「教育委員会主催の少年剣道教室

に、娘が入った半年後に私も始めました。全く未知の世界、とても重い

道病」の患者が増えたようである。

しかし練習が毎日続くと疲れてく

る。最近は日曜のたびに試合があり、二部練もあつたりして休みがない。

練習はつらい。四限目が終わると憂

鬱な気分になるが、剣道場へ行かざ

るを得ない。ところが四時四十五分

になり「集合！」の掛け声を聞くと、

「よーし、今日もやるぞ」と意気込

んでしまう。何とも複雑な気分であ

る。

あと一ヶ月もすれば夏休みになる。

最初の数日間はホッとするとだらうが、

そのうちにまた剣道がしたくてたま

らなくなるであろう。いつまでこの

ような症状が続くのだろうか。結局

のところ、私は剣道が好きなのであ

ろう。レギュラーにもなりたいし、

長年剣道を続けてきたのだから一度

は日本武道館に立つて試合をしてみ

たい。この思いが今の私を支えてい

るのかもしれない。

先日、現在高三の後輩からの手紙

が届いた。インタハイ予選で負けた

が、やるだけのことはやつた、とて

きどきする子供達の試合、勝敗を通

じて、喜びや悔しさを味わい、そし

て相手の痛みも分かり合える思いや

りの心、友達の輪も広がりました。

親子で剣を交え汗を流す。いい汗も

沢山かきました。

自分の意志を娘達に押しつけて剣

道をさせたのではなく、悩んだ時もあ

りました。しかし上の娘が中学三年

になった時、「お母さん私剣道を続

けていて良かった！」と云つた一言、

私自身ふっされて益々剣道の魅力に

ひかれています。剣道を続けていれ

ばそれだけ奥深さを感じ、悩みとま

どいます。その様な時には、何十年

とこの道を歩んでこられた先生方の

教えで、自分自身に納得いくまで語

りました。その後も、とても有難く感謝致

しております。

「剣道を始めた動機は？よく聞かれ

ることですが、子と供にの言葉通り

親子で続けています。

「弥富町はとてもスポーツの盛んな所です。町剣道連盟は、村瀬守男

会長を中心にして、毎年剣道教室

を開いています。

「教育委員会主催の少年剣道教室

に、娘が入った半年後に私も始めました。全く未知の世界、とても重い

道病」の患者が増えたようである。

しかし練習が毎日続くと疲れてく

る。最近は日曜のたびに試合があり、二部練もあつたりして休みがない。

練習はつらい。四限目が終わると憂

鬱な気分になるが、剣道場へ行かざ

るを得ない。ところが四時四十五分

になり「集合！」の掛け声を聞くと、

「よーし、今日もやるぞ」と意気込

んでしまう。何とも複雑な気分であ

る。

あと一ヶ月もすれば夏休みになる。

最初の数日間はホッとするとだらうが、

そのうちにまた剣道がしたくてたま

らなくなるであろう。いつまでこの

ような症状が続くのだろうか。結局

のところ、私は剣道が好きなのであ

ろう。レギュラーにもなりたいし、

長年剣道を続けてきたのだから一度

は日本武道館に立つて試合をしてみ

たい。この思いが今の私を支えてい

るのかもしれない。

先日、現在高三の後輩からの手紙

が届いた。インタハイ予選で負けた

が、やるだけのことはやつた、とて

きどきする子供達の試合、勝敗を通

じて、喜びや悔しさを味わい、そし

て相手の痛みも分かり合える思いや

りの心、友達の輪も広がりました。

親子で剣を交え汗を流す。いい汗も

沢山かきました。

自分の意志を娘達に押しつけて剣

道をさせたのではなく、悩んだ時もあ

りました。しかし上の娘が中学三年

になった時、「お母さん私剣道を続

けていて良かった！」と云つた一言、

私自身ふっされて益々剣道の魅力に

ひかれています。剣道を続けていれ

ばそれだけ奥深さを感じ、悩みとま

どいます。その様な時には、何十年

とこの道を歩んでこられた先生方の

教えで、自分自身に納得いくまで語

りました。その後も、とても有難く感謝致

ております。

「剣道を始めた動機は？よく聞かれ

ることですが、子と供にの言葉通り

親子で続けています。

「弥富町はとてもスポーツの盛んな所です。町剣道連盟は、村瀬守男

会長を中心にして、毎年剣道教室

を開いています。

「教育委員会主催の少年剣道教室

に、娘が入った半年後に私も始めました。全く未知の世界、とても重い

道病」の患者が増えたようである。

しかし練習が毎日続くと疲れてく

る。最近は日曜のたびに試合があり、二部練もあつたりして休みがない。

練習はつらい。四限目が終わると憂

鬱な気分になるが、剣道場へ行かざ

るを得ない。ところが四時四十五分

になり「集合！」の掛け声を聞くと、

「よーし、今日もやるぞ」と意気込

んでしまう。何とも複雑な気分であ

る。

あと一ヶ月もすれば夏休みになる。

最初の数日間はホッとするとだらうが、

そのうちにまた剣道がしたくてたま

らなくなるであろう。いつまでこの

ような症状が続くのだろうか。結局

のところ、私は剣道が好きなのであ

<p

とり気を練る心の修練にあることを、多くの人達にも知つて欲しくて、今、女性達に勧めています。

剣道を通じて私の人生観も大きく変わりました。如何に足腰、丹田、呼吸、気等大切で、全て日常生活にも通じるということ。大好きな剣道

を続けられる幸福、良き指導者にめぐり逢い、家族の協力と健康に感謝し、今益々剣道が楽しく、今後も沢山の感動を、娘と共に味わいたく思っております。



事務局だより

平成二年度

理事会・評議会報告

理事会 平2・6・23(土)

協議事項

1、平成元年度事業報告 承認

2、平成元年度収支計算書について 承認

3、事務局給与規程について 承認

4、愛知国体リハーサル大会及びデモンストレーション大会開催について 承認

報告事項

1、東海地区剣道講習会について 承認

2、県外研修について（奈良県） 承認

3、全日本女子選手権大会について 承認

4、全日本剣道選手権大会について 承認

協議事項

1、平成三年度事業計画（案）について 承認

2、平成三年度予算（案）について 承認

3、コンピューターの導入について 承認

4、平成三・四年度評議員選出について 承認

5、平成六年度第四十九回愛知県国体について 承認

報告事項

1、第三十九回全日本都道府県大会の選手について 承認

2、剣道四・五段審査会の現行一大会場を、二会場に変更について 承認

協議事項

1、審査規定第8号6の(1)について 承認

2、剣道四・五段審査会の現行一大会場を、二会場に変更について 承認

報告事項

1、平成三年度事業計画（案）について 承認

2、平成三年度予算（案）について 承認

協議事項

1、平成三年度事業計画（案）について 承認

2、平成三年度予算（案）について 承認

報告事項

1、平成三年度事業計画（案）について 承認

2、平成三年度予算（案）について 承認

協議事項

1、平成三年度事業計画（案）について 承認

2、平成三年度予算（案）について 承認

報告事項

1、平成三年度事業計画（案）について 承認

2、平成三年度予算（案）について 承認

協議事項

1、平成三年度事業計画（案）について 承認

2、平成三年度予算（案）について 承認

報告事項

1、平成三年度事業計画（案）について 承認

2、平成三年度予算（案）について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

協議事項

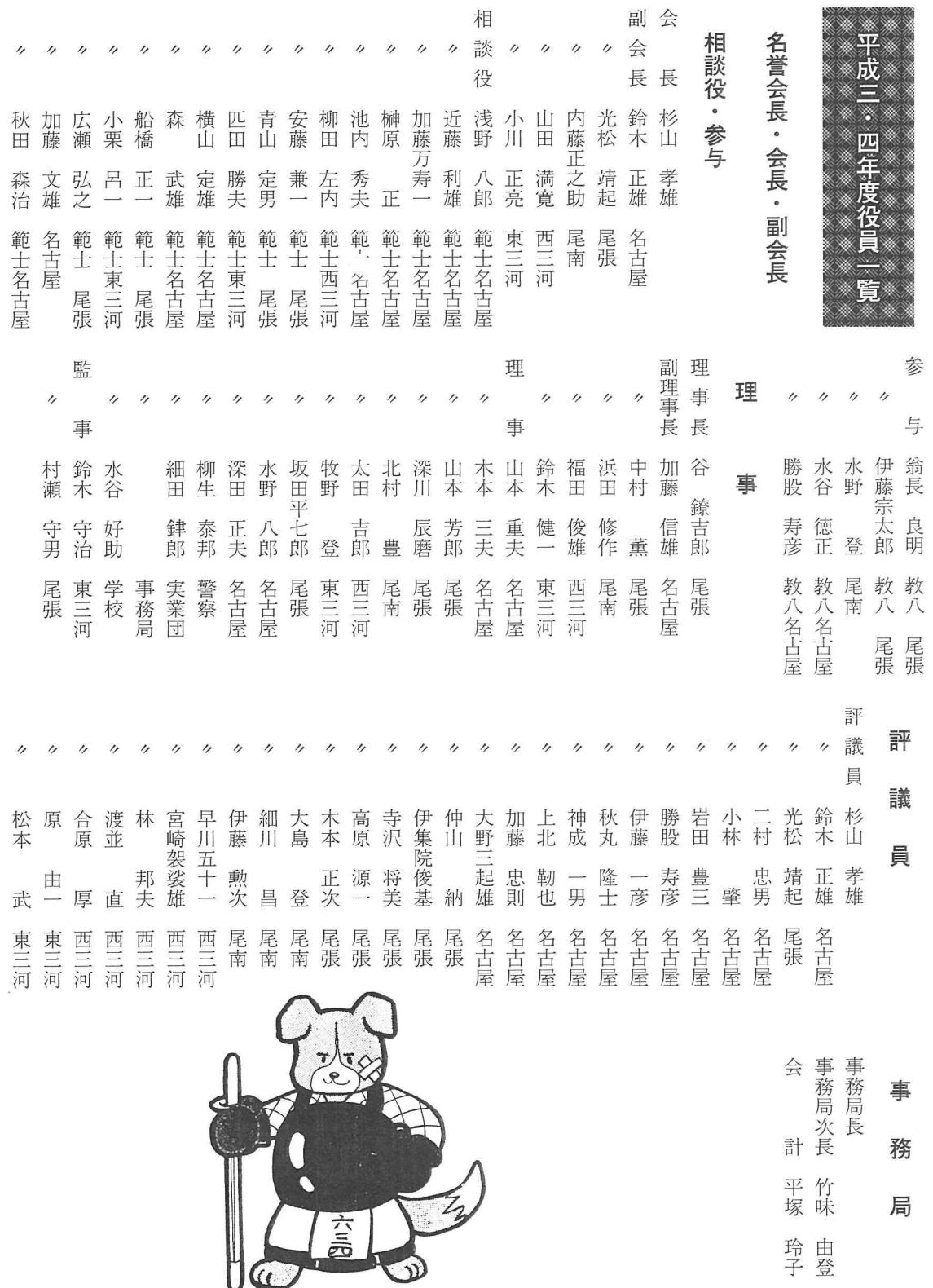
1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認

報告事項

1、高段者大会について 承認

2、団体について 承認



剣道・居合道・杖道 称号、段級

手数料一覧

平成元年4月1日実施

	審　查　料	登　録　料
8～2級	720円	1,130円
1級	820円	1,550円
初級	1,440円	3,090円
式段	1,650円	3,610円
参段	2,370円	5,150円
四段	2,880円	6,390円
五段	3,710円	9,580円
六段	8,240円	20,600円
七段	11,330円	32,960円
八段	14,420円	48,410円
称号		
鍊士	15,450円	26,780円
教士	22,660円	38,110円

財団法人 愛知県剣道連盟

※ 1級受験に際し、愛知県剣道連盟入会金として終身会費5,000円を納入しなければなりません。

平成3年度事業計画

財团法人 愛知県道連明

卷之三

備考 ●全剣道 ▲県連 △県連関与 ※その他 剣道合同練習 毎月第2月曜を除く毎月曜日(19:00)批

各連盟所在地一覧

団体名	住所	責任者	図
愛知県剣道連盟	名古屋市中村区鳥居通り2-41 ウチフジビル2F	竹味由登	052-481-0093
名古屋市地区剣道連盟	名古屋区西区藤の宮通り3-15 川津ビル405	田中 弘 FAX	052-586-6850 052-581-8688
尾張地区剣道連盟	一宮市八幡4-1-28 一宮武道館内	山本芳郎	0586-43-1023
西三河地区剣道連盟	幡豆郡吉町駄字富好新田字 蔵井戸5	早川五十一	0563-32-2044
東三河地区剣道連盟	蒲郡市形原町西御屋敷28-2	富田孝夫	0533-57-2769
尾南地区剣道連盟	東海市高横須賀町真光寺20	伊藤勲次	0562-32-0103
中部地区実業団剣道連盟	名古屋市西区松前町2-60 名鉄体育館内		052-561-4811
愛知県剣道道場連盟	名古屋市南区楠町66	山本重夫	052-811-3616
東海学生剣道連盟	名古屋市中村区名駅4-7-35 毎日新聞中部本社事業部内		052-561-5202

財団法人 愛知県剣道連盟	
日	月
1日	△第36回東海四県対抗剣道大会 ※西三河級審査会
2月	△第21回東海四県対抗居合道大会 ※第2回まごと少年少女剣道大会
3火	△第36回中部日本剣道大会
4水	●剣道中央講習会(8日~9日)
5木	●第7回尾張地区少年剣道大会県予選
6金	●第9回名古屋級審査会(9日~10日)
7土	●第10回東三河級審査会(10日~11日)
8日	●第11回西三河級審査会(11日~12日)
9木	●第12回東三河級審査会(12日~13日)
10金	●第13回西三河級審査会(13日~14日)
11土	●第14回東三河級審査会(14日~15日)
12木	●第15回東三河級審査会(15日~16日)
13金	●第16回東三河級審査会(16日~17日)
14土	●第17回東三河級審査会(17日~18日)
15日	●第18回東三河級審査会(18日~19日)
16月	●第19回東三河級審査会(19日~20日)
17火	●第20回東三河級審査会(20日~21日)
18水	●第21回東三河級審査会(21日~22日)
19木	●第22回東三河級審査会(22日~23日)
20金	●第23回東三河級審査会(23日~24日)
21土	●第24回東三河級審査会(24日~25日)
22水	●第25回東三河級審査会(25日~26日)
23木	●第26回東三河級審査会(26日~27日)
24火	●第27回東三河級審査会(27日~28日)
25水	●第28回東三河級審査会(28日~29日)
26木	●第29回東三河級審査会(29日~30日)
27金	●第30回東三河級審査会(30日~31日)
28土	●第31回東三河級審査会(31日~1月1日)
29日	●第32回東三河級審査会(1月1日~2日)
30月	●第33回東三河級審査会(2月1日~2日)
31火	●第34回東三河級審査会(2月1日~2日)

平成3年度事業計画

12月	1月	2月	3月					
日	行 事	場所・時間	日	行 事	場所・時間	日	行 事	場所・時間
1日	▲第8回全国剣道連盟対抗剣道選手権大会 ※西三河級審査会	橋 9:30	1水	●第1回愛知県春季少年剣道大会 ※名古屋級審査会	橋 10:00	1日	△第36回東海四県対抗剣道大会 ※第2回まごと少年少女剣道大会	橋 10:00
2月	●第1回愛知県春季少年剣道大会 ※名古屋級審査会	橋 9:30	2木	●第2回東海四県対抗居合道大会 ※第2回まごと少年少女剣道大会	橋 10:00	2月	●第21回東海四県対抗居合道大会 ※第2回まごと少年少女剣道大会	橋 10:00
3火	●第2回東海四県対抗居合道大会 ※第2回まごと少年少女剣道大会	橋 9:30	3金	●第3回東海四県対抗居合道大会 ※第3回まごと少年少女剣道大会	橋 9:30	3火	●第22回東海四県対抗居合道大会 ※第2回まごと少年少女剣道大会	橋 9:00
4水	●第3回東海四県対抗居合道大会 ※第3回まごと少年少女剣道大会	橋 9:30	4土	●第4回東海四県対抗居合道大会 ※第4回まごと少年少女剣道大会	橋 10:00	4水	●第23回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
5木	●第4回東海四県対抗居合道大会 ※第4回まごと少年少女剣道大会	橋 9:30	5日	●第5回東海四県対抗居合道大会 (初10:00・居13:00・校15:00)	橋 10:00	5木	●第24回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
6金	●第5回東海四県対抗居合道大会 (初10:00・居13:00・校15:00)	橋 9:30	6月	●第6回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 10:00	6木	●第25回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
7土	●第6回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 9:30	7火	●第7回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 10:00	7木	●第26回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
8日	●第7回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 9:30	8水	●第8回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 10:00	8木	●第27回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
9月	●第8回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 9:30	9木	●第9回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 10:00	9木	●第28回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
10火	●第9回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 9:30	10金	●第10回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 10:00	10金	●第29回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
11水	●第10回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 9:30	11土	●第11回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 10:00	11水	●第30回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
12木	●第11回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 9:30	12木	●第12回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 10:00	12木	●第31回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
13金	●第12回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 9:30	13木	●第13回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 10:00	13木	●第32回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
14土	●第13回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 9:30	14火	●第14回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 10:00	14火	●第33回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
15日	●第14回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 9:30	15水	●第15回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 10:00	15木	●第34回愛知県春季少年剣道大会 (小学生)	橋 10:00
16月	●第15回東海四県対抗居合道大会 ※名古屋級審査会	橋 9:30	16木	●第16回東海四県対抗居合道大会 ※尾張級審査会	橋 10:00	16木	●第35回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
17火	●第16回東海四県対抗居合道大会 ※尾張級審査会	橋 9:30	17金	●第17回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	17火	●第36回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
18水	●第17回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	18土	●第18回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	18水	●第37回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
19木	●第18回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	19木	●第19回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	19木	●第38回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
20金	●第19回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	20木	●第20回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	20木	●第39回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
21土	●第20回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	21火	●第21回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	21木	●第40回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
22水	●第21回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	22水	●第22回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	22木	●第41回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
23木	●第22回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	23木	●第23回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	23木	●第42回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
24火	●第23回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	24木	●第24回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	24木	●第43回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
25水	●第24回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	25木	●第25回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	25木	●第44回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
26木	●第25回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	26木	●第26回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	26木	●第45回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
27金	●第26回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	27木	●第27回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	27木	●第46回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
28土	●第27回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	28木	●第28回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	28木	●第47回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
29日	●第28回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	29木	●第29回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	29木	●第48回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00
30月	●第29回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 9:30	31火	●第30回東海四県対抗居合道大会 ※東三河級審査会	橋 10:00	31火	●第49回愛知県春季少年剣道大会(団体) ※東三河級審査会	橋 10:00

備考 ●企画連 備合連 ▲県連 △県連 運営会員連 合同練習会 合同練習会 毎月第2月曜日(13:00) 每月第1回(13:00) 每月第2回(13:00) 每月第3回(13:00) 每月第4回(13:00) 每月第5回(13:00) 每月第6回(13:00) 每月第7回(13:00) 每月第8回(13:00) 每月第9回(13:00) 每月第10回(13:00) 每月第11回(13:00) 每月第12回(13:00) 每月第13回(13:00) 每月第14回(13:00) 每月第15回(13:00) 每月第16回(13:00) 每月第17回(13:00) 每月第18回(13:00) 每月第19回(13:00) 每月第20回(13:00) 每月第21回(13:00) 每月第22回(13:00) 每月第23回(13:00) 每月第24回(13:00) 每月第25回(13:00) 每月第26回(13:00) 每月第27回(13:00) 每月第28回(13:00) 每月第29回(13:00) 每月第30回(13:00) 每月第31回(13:00) 每月第32回(13:00) 每月第33回(13:00) 每月第34回(13:00) 每月第35回(13:00) 每月第36回(13:00) 每月第37回(13:00) 每月第38回(13:00) 每月第39回(13:00) 每月第40回(13:00) 每月第41回(13:00) 每月第42回(13:00) 每月第43回(13:00) 每月第44回(13:00) 每月第45回(13:00) 每月第46回(13:00) 每月第47回(13:00) 每月第48回(13:00) 每月第49回(13:00) 每月第50回(13:00) 每月第51回(13:00) 每月第52回(13:00) 每月第53回(13:00) 每月第54回(13:00) 每月第55回(13:00) 每月第56回(13:00) 每月第57回(13:00) 每月第58回(13:00) 每月第59回(13:00) 每月第60回(13:00) 每月第61回(13:00) 每月第62回(13:00) 每月第63回(13:00) 每月第64回(13:00) 每月第65回(13:00) 每月第66回(13:00) 每月第67回(13:00) 每月第68回(13:00) 每月第69回(13:00) 每月第70回(13:00) 每月第71回(13:00) 每月第72回(13:00) 每月第73回(13:00) 每月第74回(13:00) 每月第75回(13:00) 每月第76回(13:00) 每月第77回(13:00) 每月第78回(13:00)

計報

編集後記

竹田 弘太郎(七十五才)
(財)愛知県剣道連盟名誉会長

松田 和夫（六十四才）
（財）愛知県剣道連盟事務局長
平成三年七月十九日逝去

國松 厳（七十四才）
（財）愛知県剣道連盟監事
前東海学生剣道連盟会長
平成三年十月二十一日逝去

曾田 正（六十才）
（財）愛知県剣道連盟評議員
平成三年九月二十六日逝去

お祈り申し上げます

広報委員会
副理事會
委員長
委員
委員
木本三夫
中川治彦
渡辺一民
若松幸雅

目「膝」は「脛(ヘソ)」に訂正下さい。
今後も誌面の充実をはかつて
参りますので、ご指導ご鞭撻宜
しくお願ひ致します。

<p>竹田 弘太郎（七十五才） (財)愛知県剣道連盟名誉会長 平成三年十月二十九日逝去</p>
<p>松田 和夫（六十四才） (財)愛知県剣道連盟事務局長 平成三年七月十九日逝去</p>
<p>国松 厳（七十四才） (財)愛知県剣道連盟監事 前東海学生剣道連盟会長 平成三年十月二十一日逝去</p>
<p>曾田 正（六十才） (財)愛知県剣道連盟評議員 平成三年九月二十六日逝去</p>
<p>謹んで御冥福を</p>
<p>お祈り申し上げます</p>
<p>編集後記 第十五号の発刊が大幅に遅れました事を深くお詫び申し上げます。</p>
<p>元事務局長の松田先生はじめ多くの諸先生方の突然の訃報に接し一同深い悲しみの中で追い込の編集作業をして参り、ようやく発刊の運びとなりました。</p>
<p>尚観の目十四号五頁第二段二十四行目「九ヶ月」は「九ヶ年」に訂正、同じく五頁第三段十七行目「膝」は「脇（ヘソ）」に訂正下さい。</p>
<p>今後も誌面の充実をはかつて参りますので、ご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。</p>
<p>広報委員会 副理事會 鈴木健一 委員長 木本三夫 委員 中川治彦 委員 渡辺一民 委員 若松幸雅</p>

広報「観の眼」第十五号

平成三年十二月一日

財団法人愛知県剣道連盟
〒451 名古屋市中村区鳥居通り
二ノ四一ウチフジビル二階
電話(052)481-1009三
FAX(052)481-1009五

題字・名誉会長 故竹田弘太郎氏